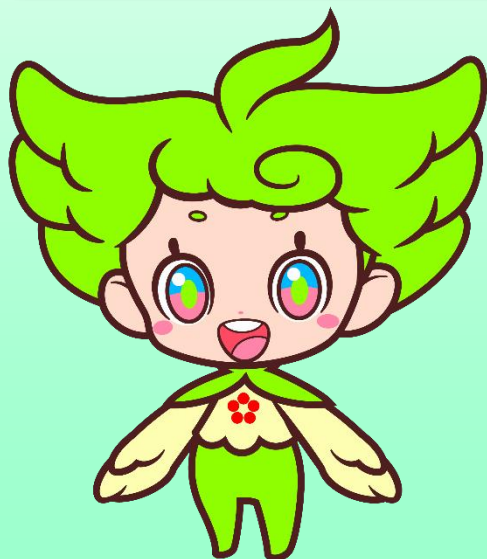


令和4年度

福岡県道徳教育に関する実態調査活用の手引

福岡県では、児童生徒の道徳教育に関する実態を把握し、これからの道徳教育の充実に役立っています。調査用紙や集計表をダウンロードできるようにしていますので、各学校や各学級でも、児童生徒の実態把握をはじめ、道徳教育の重点目標の設定や道徳科の授業づくりに活用しましょう。



ふくおか教育月間イメージキャラクター「ミライル」
これからの社会にはばたく子どもたちの「翼」をイメージした妖精です

「福岡県道徳教育に関する実態調査」の概要

○ 調査方法

6教育事務所において、約1割の小学校5年生・中学校2年生に20項目の質問紙調査を実施

○ 実施時期

令和4年10月～令和4年12月

○ 調査人数

小学校5年生：2,935人 中学校2年生：2,790人

令和5年1月福岡県豊かな心育成推進会議

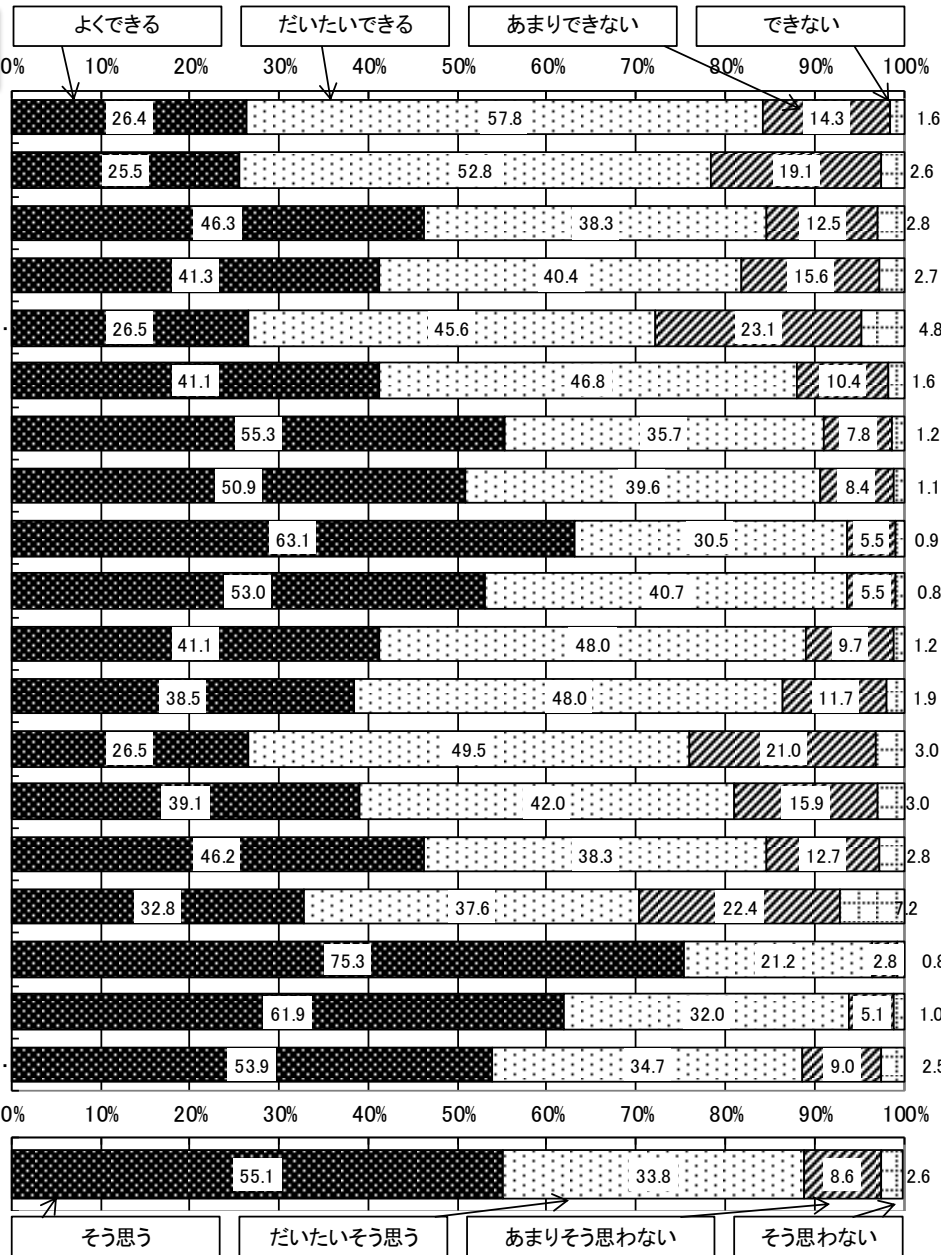
道徳教育に関する実態調査集計(小学校5年生)

自分自身

人との関わり

集団や社会との関わり

崇高な自然との関わり



道徳教育に関する実態調査集計(中学校2年生)

自分自身

自分で考え、自分の意志で決定したことに対して、責任ある行動をとっている。

規則正しい生活を送りながら、健康を損なわないように生活をしている。

自己を見つめ、自分の個性をもっと伸ばそうとしている。

自分なりの目標を立て、やり抜く強い意志を持って取り組んでいる。

疑問を調べたり考えたりして、新しい考えや方法を生み出そうとしている。

人との関わり

自他をかけがえのない人間として考え、他の人々に対し、思いやりの心を持って接している。

日々の生活や現在の自分を支えている人に、感謝の気持ちを表している。

時や場に応じて、礼儀正しい言葉遣いや態度をとっている。

友だちと信頼し合い、互いに励まし合い高め合っている。

互いの個性や立場を認め、広い心で他の人の考えに謙虚に学ぼうとしている。

集団や社会との関わり

自分や他の人の権利を大切にし、よりよい社会の実現のために、法やきまりを守っている。

正義を大事にし、誰に対しても公正、公平に接している。

公共の福祉や社会の発展のために進んで尽くそうとしている。

家族の一員としての自覚を持ち、家族のために役割を果たそうとしている。

地域や日本の伝統や文化を大切にし、郷土や日本の発展を願っている。

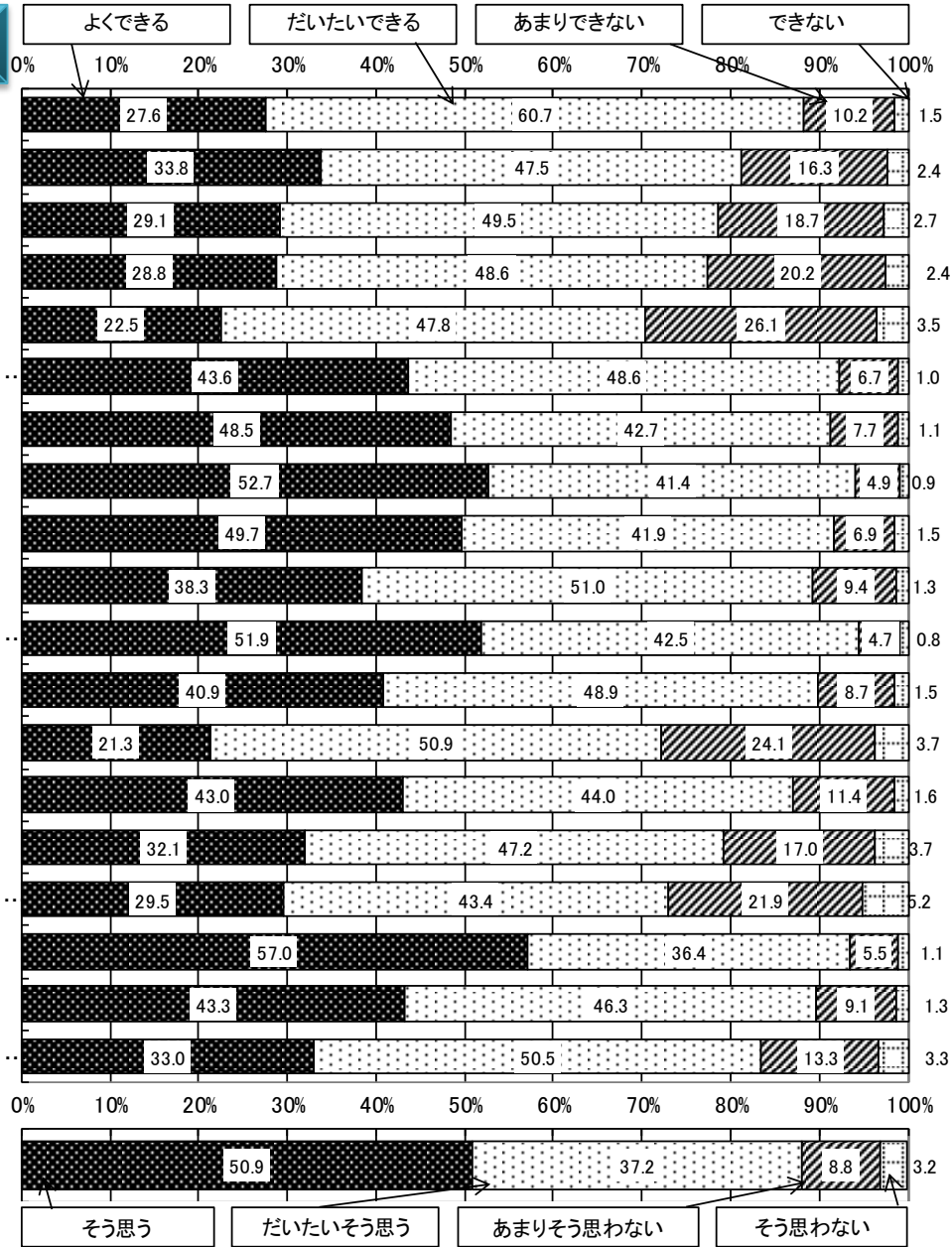
国際的視野に立って、日本人としての自覚をもち、世界の人々と関わっていきたい。

生命の尊さを考え、かけがえのない自他の生命を大切にしている。

自分が自然の中で生きていると感じ、自然環境を守ろうと努めている。

人間には弱さやずるさを克服する強さや気高さがあることを信じ、誇りある生き方をしている。

「道徳科」の学習は、自分の言動を決める上で役に立つと思う。



そう思う だいたいそう思う あまりそう思わない そう思わない

